

# JTAG キャリアデザインWG



【速報】

学生のキャリア調査（2023年度）

---

初版：2024/3

**2版：2024/6**

## 調査テーマ

# 学生視点のキャリア調査

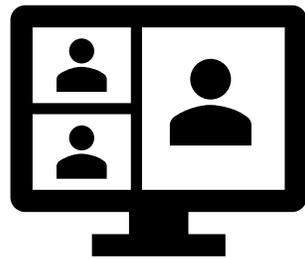
アンケート・インタビュー調査



500名超

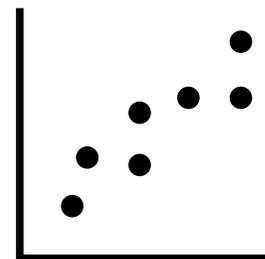
2023年のアンケート収集数

調査結果の分析



WG活動

パーソナリティ特性

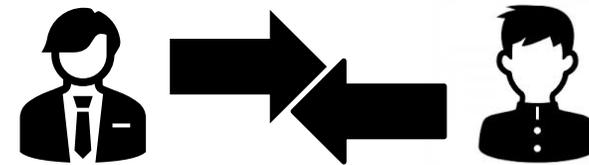
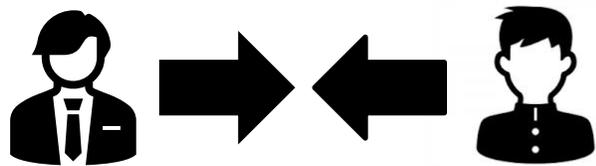


TIPI-J

Ten Item Personality Inventory

# 調査の背景

学生が産業界、特にセキュリティ業界に期待することを調査することで、産業界が求める要素と学生が期待することのギャップ調査を行う。産業界と学生の目線を合わせることで、学生の流入を促すきっかけを作る。



産業界が考える  
就職やキャリア

学生が考える  
就職やキャリア



## アンケート調査

時期：8～12月末

時間：10分程度

方法：Formsへの入力

対象者：以下要件に合う学生

- ・セキュリティを中心に学んでいる学生

アンケート内容：以下質問カテゴリ約50問

- (ア)対象者のプロフィール情報
- (イ)就職・仕事に関する質問
- (ウ)セキュリティの仕事に関する質問
- (エ)セキュリティキャリアについての質問
- (オ) Ten Item Personality Inventory

### ■質問内容

パーソナルに関する質問
学校区分を選択してください。
学年を選択してください。
年齢を選択してください。
就職・働き方に関する質問
学校卒業後につきたい仕事・職種は決まっていますか？ ↓ ※内定がすでに出ている場合には、就職活動前を思い起こし回答してください。
就職活動をする上で重要視していること、していたことは何ですか？
リモートワークという働き方について、「人間関係の構築がしづらい」という不安はありますか？
リモートワークという働き方について、「相談がしづらい」という不安はありますか？
リモートワークという働き方について、「OJTで学びづらい」という不安はありますか？
リモートワークという働き方について、「勤務とプライベートの区別がしづらい」という不安はありますか？

## 取得した質問内容の一部

## 分析（本書）

分析時期：2023年12月～2024年1月  
対象：アンケートの有効回答を抽出し実施

主な分析の切り口

- (ア)学年
- (イ)学校区分

主な分析手法

- (ア)クロス集計
- (イ)WG内ディスカッションによる考察

## 分析（今後の予定）

分析時期：2月～  
対象：アンケートの有効回答を抽出し実施

主な分析の切り口

- (ア)パーソナリー属性

主な分析手法

- (ア)クロス集計
- (イ)BIG5分析
- (ウ)WG内ディスカッションによる考察

今後の予定では、本アンケート調査の結果を企業の人事担当者にもヒヤリングを行い、考察に反映する予定

# 最近の学生の特徴

オンラインと対面の授業を併用。  
オンラインでのコミュニケーションが  
日常に存在する。

インターンシップも出社等はせずに  
在宅ワークで実施



新入社員からでも高い給与の可能性  
反面、給与だけではなく企業のビジョンに  
共感して仕事を選ぶ。

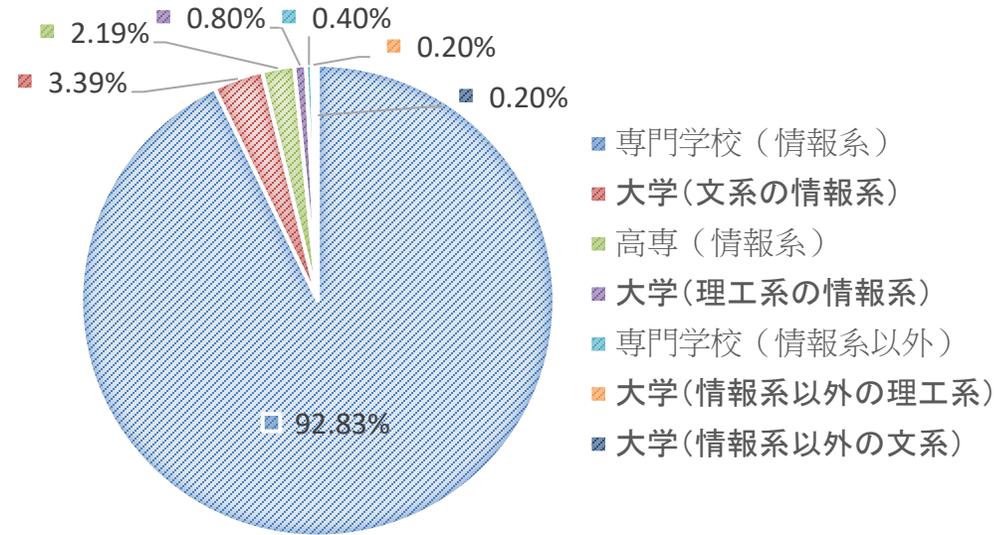
ITがあることは前提  
ITを使って何をすることが就職のポイント

# 回答者属性

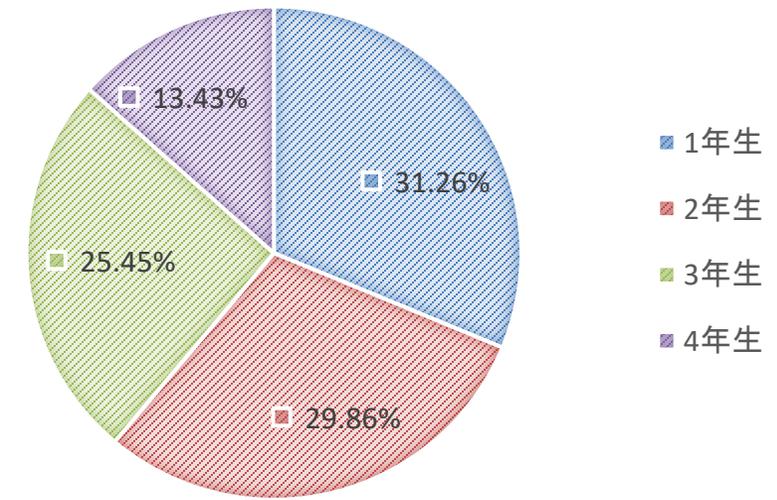
## 収集したデータと有効データ数（成型後）

アンケート収集数	有効データ数	有効率
502人	502人	100%

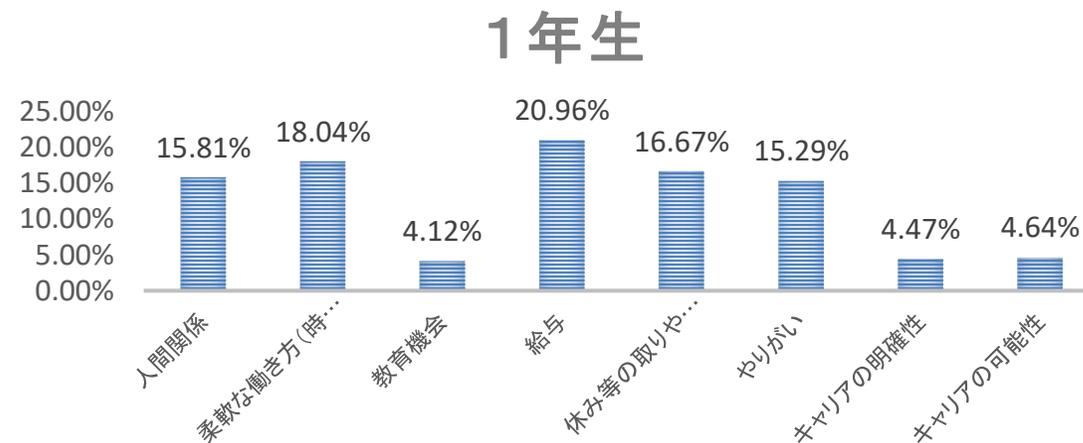
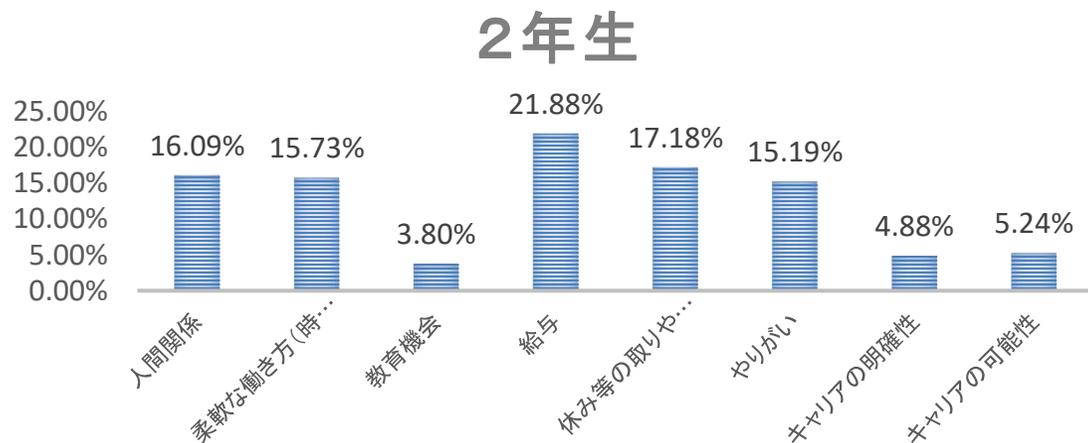
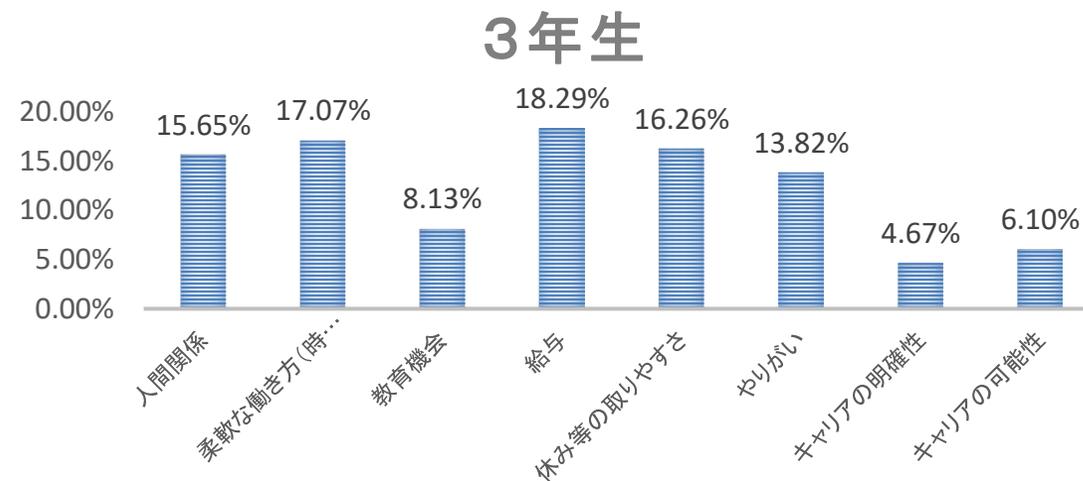
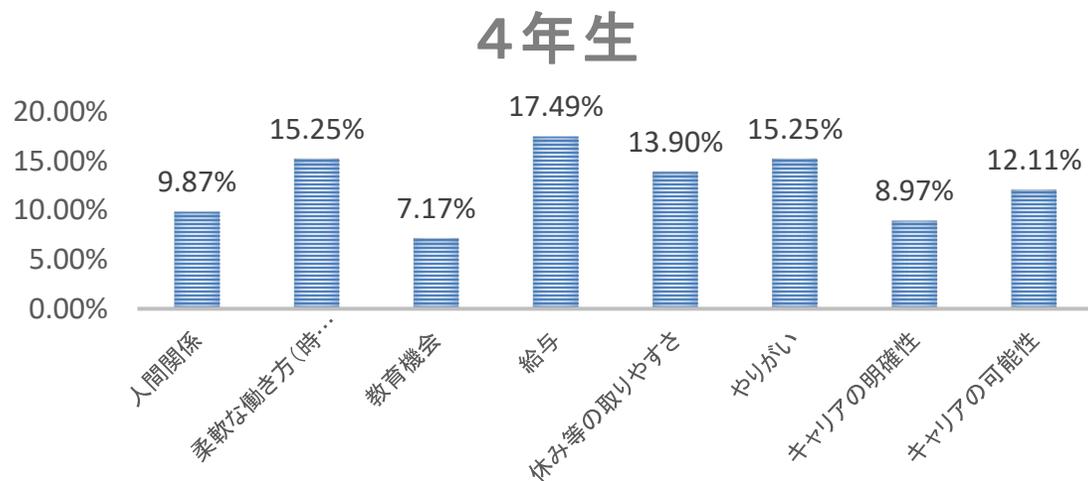
学校区分（単位：％）



学年（単位：％）



# 就職活動をする上で重要視していること、していたこと



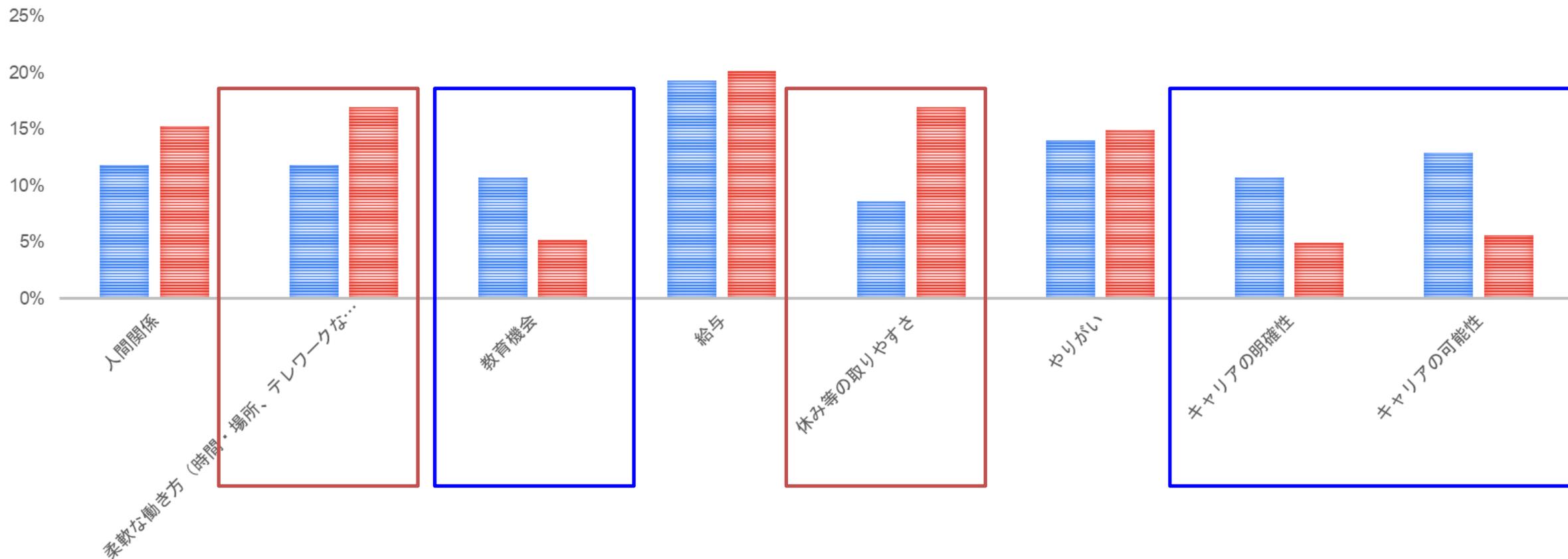
給与、柔軟な働き方、やりがい、人間関係、休み等の取りやすさがどの学年でも高い。2022年度調査でも同じ結果が出ており、『働く』ことを意識した回答になっていることが伺える。

# 就職活動をする上で重要視していること、していたこと



## 大学生と専門学校生の違い

■ 大学 ■ 専門学校



大学生と専門学校生の違いを比較した。専門学校生は、働き方に関する項目を重要視している傾向が高く、大学生はキャリアや育成を重視していることがわかる。

# 就職活動をする上で重要視していること、していたこと



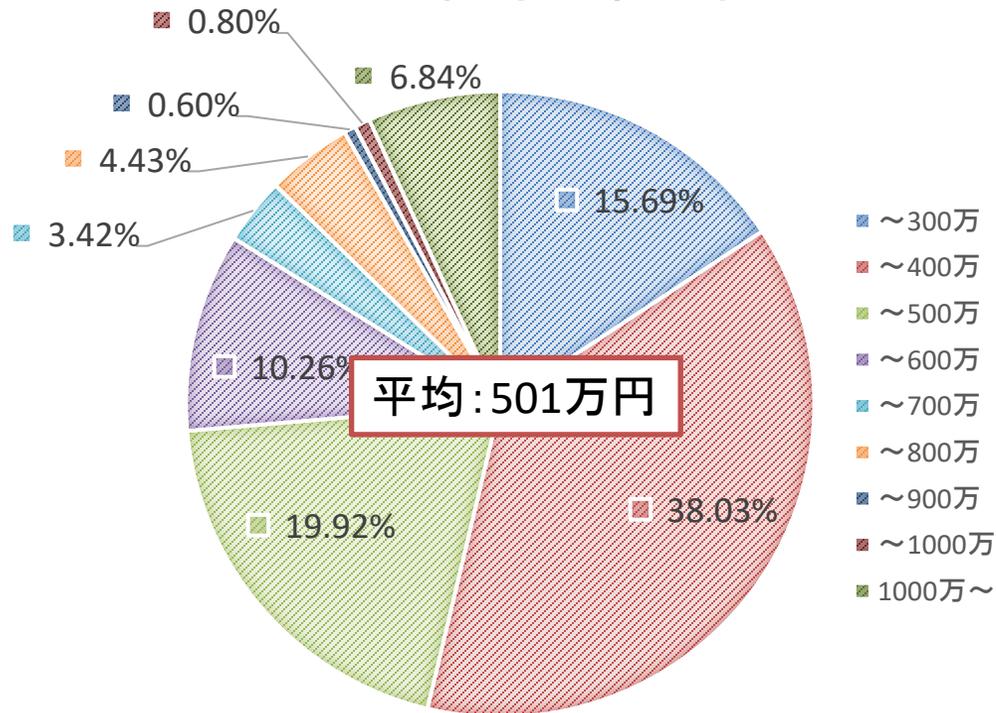
## 大学生と専門学校生の違い（3，4年生）



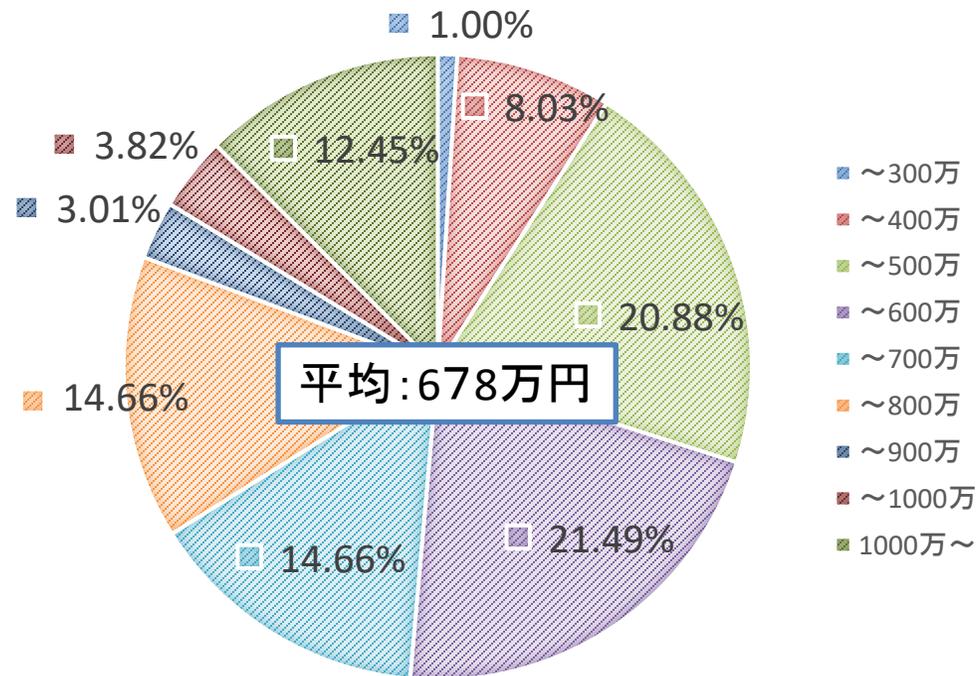
就職をより意識する3・4年生では、キャリアの意識などは大学が3年生から高い数値となっているのに対して、専門学校では4年生からとなっていた。キャリア教育の開始時期や就職活動なども影響していると想定される。

# 求める年収

## 入社時の希望年収



## 30歳時の希望年収



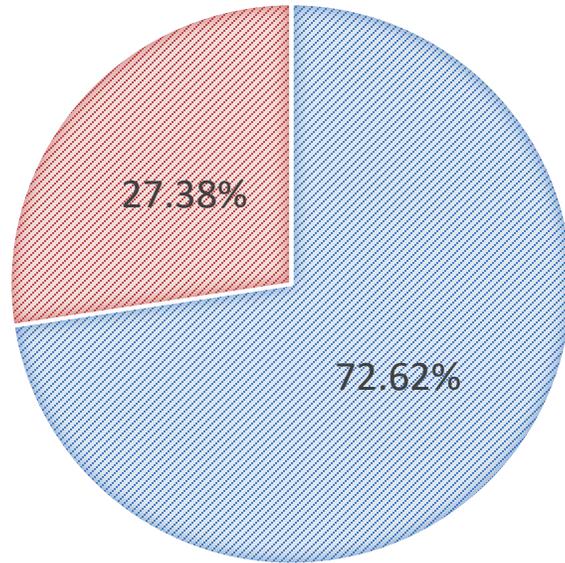
1年を通じて勤務した給与所得者の1人当たりの平均給与は461万円(国税庁)

新卒時の希望年収は400万が一番多く、比較的現実的な考えが多い。しかし30歳時の希望年収では、500万~800万円が分散した結果となった。平均年収以上を求める意識も働いていると考えられる。

# セキュリティ関係の仕事に就きたいか



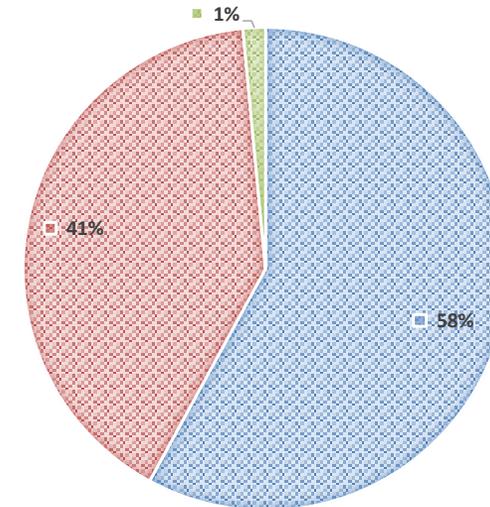
セキュリティ関係の仕事への就業希望



- 就きたい(セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定)
- 就きたくない

2022年の調査結果

セキュリティ 関係の仕事に就きたいですか？



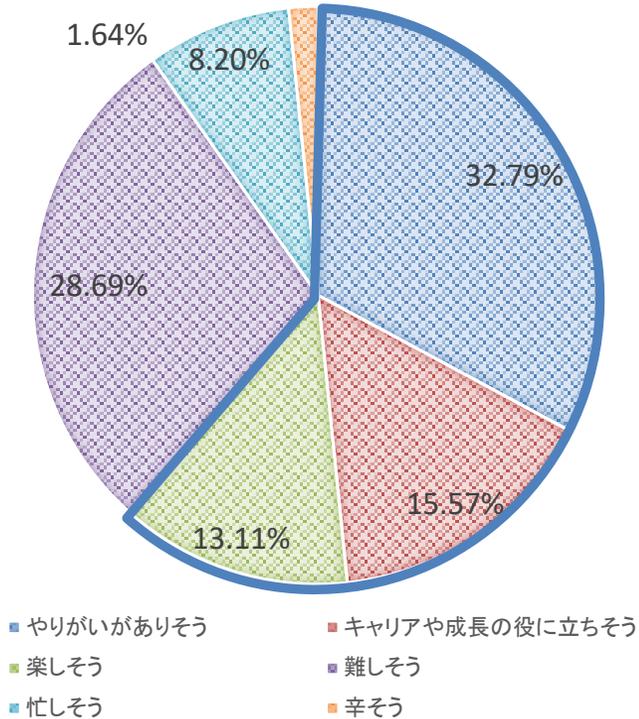
- 就きたい(セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定)
- 就きたくない
- 未回答

2022年調査時は、セキュリティの仕事に就きたくないと回答した学生が40%超えであったが、2023年調査では25%程度となった。セキュリティを学んでいる学生ではあるが、セキュリティの仕事に就きたくないとする学生が一定数はいることになる。

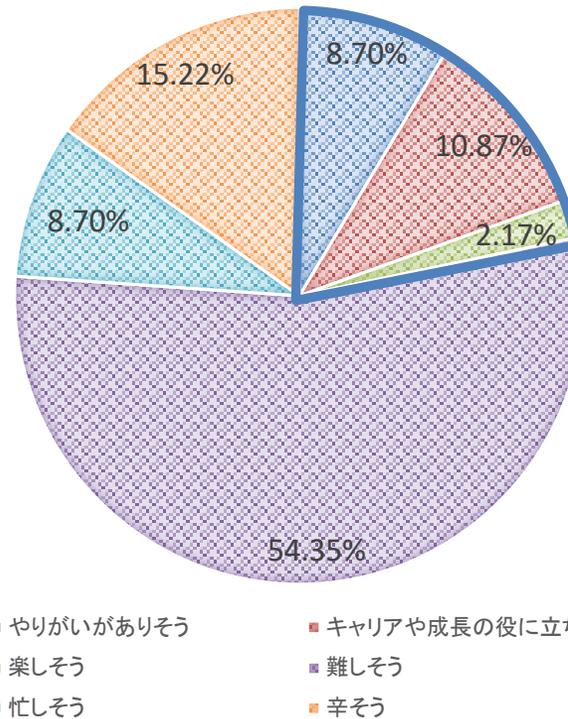
# セキュリティ関係の仕事に就きたいか



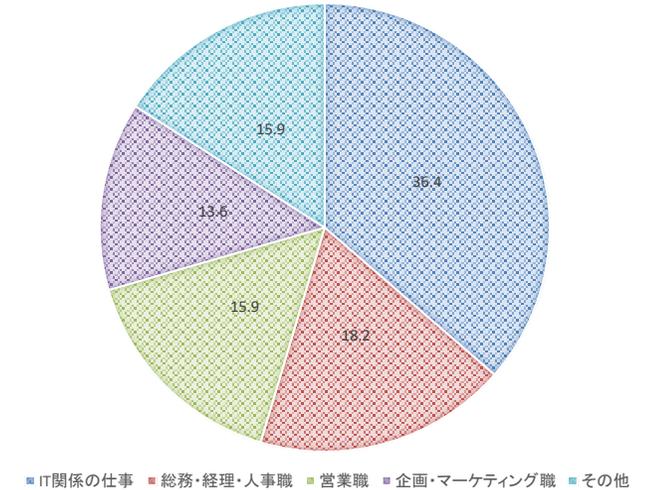
就きたい  
(セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定)



就きたくない



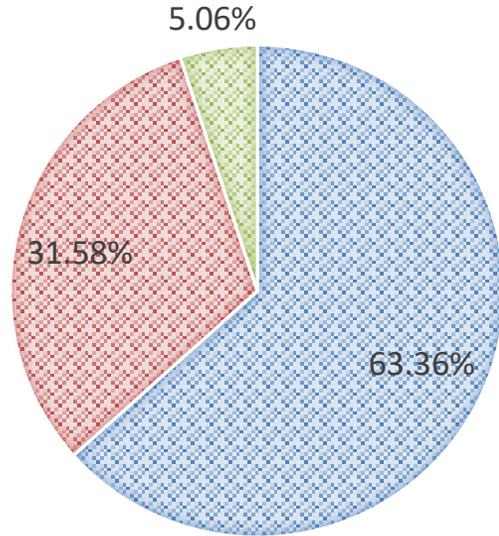
現在の学校(学科)へ進学していなければ、どんな仕事に進むと思いますか？  
(セキュリティの仕事に就きたくない人の回答)



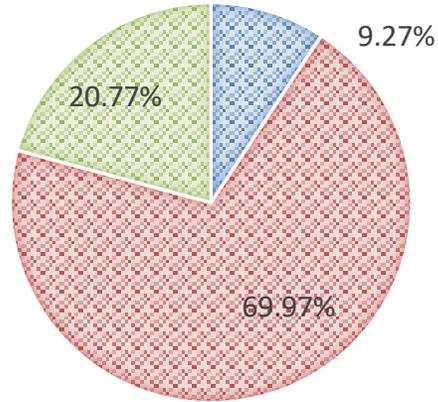
セキュリティの仕事に就きたい人と就きたくない人では、前向きな回答である、『やりがい』、『楽しそう』、『キャリアや成長の役に立ちそう』という回答が圧倒的に少ない傾向にある。特に就きたくないという学生はやりがいを感じづらく、難しそう、辛そうという意識が高いことがわかる。場合によっては、学校の勉強で難しさを感じているという可能性も考えられるが、セキュリティの仕事はやりがいがあると伝える機会を増やすことが大切である。

# キャリアの築き方

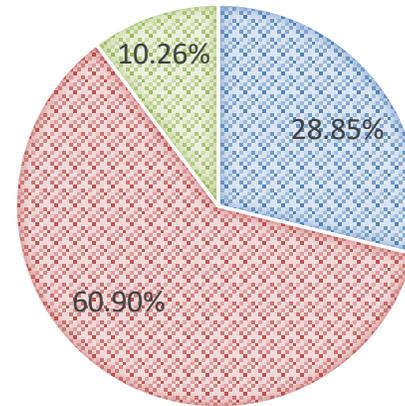
キャリアの築き方で近い考え方を教えてください。



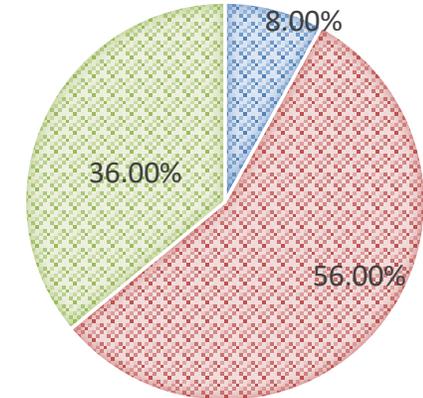
所属する会社によらず(副業なども実施し)キャリアを築きたい



所属する会社内でキャリアを築きたい



組織に属さずキャリアを築きたい



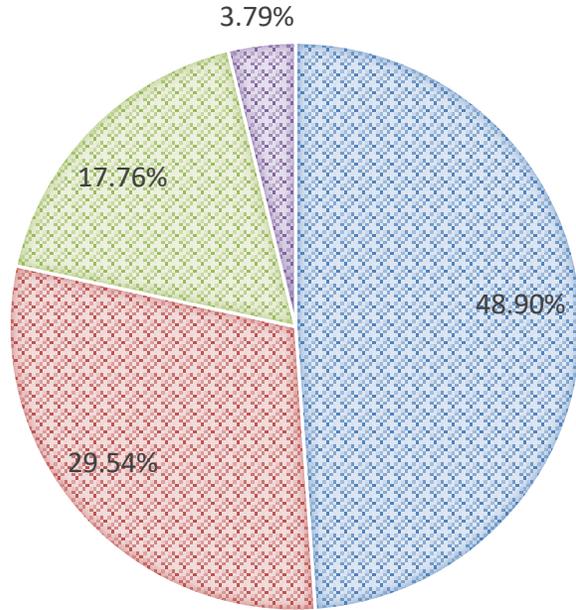
- 所属する会社によらず(副業なども実施し)キャリアを築きたい
- 所属する会社内でキャリアを築きたい
- 組織に属さずキャリアを築きたい

- 転職は考えない(ひとつの会社で定年まで働く)
- より良いキャリア形成のためには転職も考えたい
- チャンスがあれば積極的に転職したい

最近の学生のキャリアの気づき方として、所属する会社によらないキャリアの気づき方を考える人が過半数を超えている。3割の学生は所属する会社内でキャリアを気づきたいと考えている。しかし、そんな学生もより良いキャリアのためには転職を考えたいとしており、自身の望むキャリアが所属する会社で実現できるかが重要であると考えられる

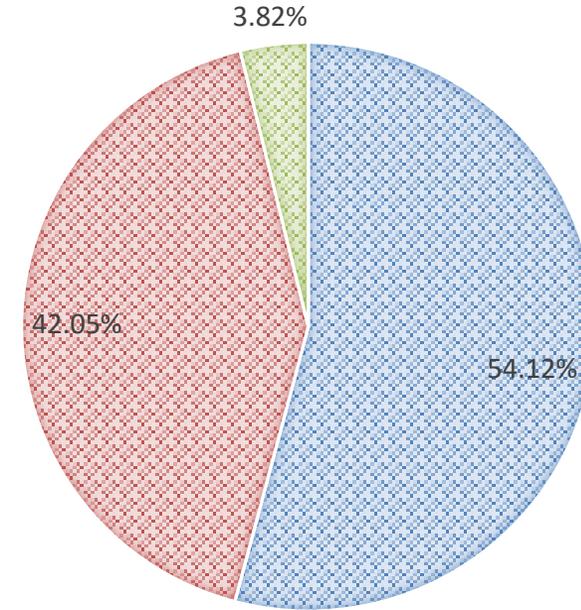
# キャリアの築き方

自身の入社・就職後の  
キャリア(仕事)の展望・展開



■ 自身で考えたい ■ 会社に任せる ■ わからない ■ 外部のサービス等を利用する

キャリアの可能性を会社から  
提示してほしいですか？



■ 長期的に提示してほしい ■ 最初のうちは提示してほしい ■ 提示してほしくない

キャリアの築き方としては、自身で考えたいという意見が多い。会社からのキャリアの提示は長期・短期に関わらず、9割の人が提示して欲しいと回答している。会社からの提示はありつつも、それらを参考にしつつ、自分のキャリアを選択していきたい意向が伺える。

# セキュリティ関係の仕事に就く人への期待



セキュリティ関係の仕事に就く人たちは今後どうなればよいと思いますか？	
高い年収を獲得する	79
DX/デジタル化推進の中心となる	51
セキュリティベンダーでなくても事業部門で売りに貢献する	16
なりたい職業ランキングに入る	13
勉強し続ける	1
自身の実力をもっと高める	1
セキュリティ関連の仕事でなくてもセキュリティの知識を持つべき	1
労働基準を見直す	1
正当に仕事を評価される（業績関係で蔑ろにされない）	1
セキュリティやITの人でない人から重要性を理解される	1
そのままが良い	1
経営者にとって価値が高いことが認められるようになる	1
わからない	1

白編みかけは選択回答、青編みかけはフリー記述回答

学生から見てセキュリティ関係の仕事に就く人への期待は、年収・DX / デジタル化推進の中心となるが多い。また、フリー記述の回答では、評価など世間的な地位向上を目指す意見も多く見られた。

# BIG FIVE分析による考察

---

2024年6月追記

# BIG FIVE分析とは



2024年6月追記

ビッグファイブ理論は、1990年代にレイス・R・ゴールドバーグという心理学者が提唱した、人間の性格を5つの基本的な因子で説明しようとする心理学の理論。

人の性格は「外向性」「協調性」「勤勉性」「神経症傾向」「開放性」の5つの因子から成り立つとされ、ビッグファイブ理論は、これらの5つの因子が個人の性格を幅広くカバーしていると考えている。

- 外 向 性** : 社交的、活発な人柄、自己主張の強さ、積極性、刺激を求める
- 調 和 性** : 協調性、協力的、同調的、思いやり、気遣いができる、親切心
- 勤 勉 性** : 勤勉さ、責任感、信頼されやすい人柄、裏表のなさ、約束を守る
- 神経質的傾向** : 気持ちの安定性、不安の感じにくさ、ストレスへの強さ、おおらかさ ※1
- 開 放 性** : 好奇心の強さ、知性、新しい情報への興味、芸術性、冒険心

※1 : 神経質的傾向が高い人はストレスの多い状況では精神・身体面で影響を受けやすい傾向がある

# 調査対象者の基本属性（BIG FIVE）



前回の調査と同傾向で協調性が高い、勤勉性はやや低い

2024年6月追記

	平均値	標準偏差	今回の調査対象者	先行研究1 20代（男性）	先行研究1 20代（女性）	先行研究2 (20代)
外向性	3.34	1.40	外向性 3.34	3.81	4.15	3.61
協調性	5.08	1.16	協調性 <b>5.08</b>	4.65	4.97	4.68
勤勉性	3.08	1.27	勤勉性 <b>3.08</b>	3.49	3.57	3.83
神経症傾向	4.38	1.35	神経症傾向 4.38	3.98	4.33	4.4
開放性	4.07	1.29	開放性 4.07	4.05	3.85	3.79

調査対象者全体を5つの因子で分析した。

今回の調査対象者と先行研究の対象者を比較すると、**協調性が高く、勤勉性はやや低い**という結果となった。勤勉性がやや低いという結果は、勉強しないということではなく、計画性よりも直観に従うなどの傾向がみられる。

# 学生のキャリア展望とパーソナリティ



Q:自身の入社・就職後のキャリア(仕事)の展望・展開についてどのように考えますか？ 2024年6月追記

	自身で考えたい N=240	会社に任せる N=148	外部のサービス等 を利用する N=19	わからない N=84
外向性	3.53	3.17	2.87	3.24
協調性	5.14	5.05	5.00	4.96
勤勉性	3.15	2.99	2.82	3.08
神経症傾向	4.19	4.62	4.39	4.45
開放性	4.33	3.86	4.08	3.70

入社・就職後のキャリアについて、「会社に任せる」と回答した学生と比べると、「自分で考えたい」と回答した学生は、開放性と外向性が高い。一方で神経症傾向は低い。自律的なキャリアを志向する学生は、新しいことに対して、果敢に取り組み、未知なる環境を好む傾向がみられる。

# セキュリティ分野に就職する 学生のキャリア展望とパーソナリティ



2024年6月追記

Q:現在、セキュリティ関係の仕事に就きたいですか？

Q:自身の入社・就職後のキャリア（仕事）の展望・展開についてどのように考えますか？

	就きたい※ N=121	就きたくない N=45
外向性	3.41	3.21
協調性	5.12	5.17
勤勉性	3.26	3.29
神経症傾向	4.17	4.54
開放性	4.23	3.94

※セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定含む

	自身で考えたい N=59	会社に任せる N=36	外部のサービス等 を利用する N=8	わからない N=18
外向性	3.69	3.40	2.63	2.89
協調性	5.25	4.92	5.25	5.03
勤勉性	3.49	2.99	3.13	3.11
神経症傾向	4.02	4.33	4.00	4.39
開放性	4.51	3.92	4.25	3.92

※セキュリティ関係の仕事に就きたいと回答者した対象者（N=121）に限定

セキュリティ分野に就職する自律的なキャリアを志向する学生は、**勤勉性の因子が高く**、責任感があり勤勉であることが窺える。また、**開放性が高い**ことから、新しいことに対して果敢に取り組み、未知なる環境を好む傾向がある。

# キャリアに関する会社からの提示



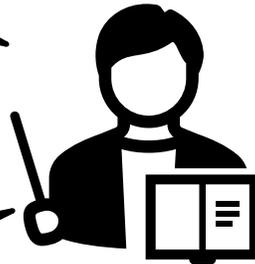
2024年6月追記

Q:キャリアの可能性を会社から提示してほしいですか？

	長期的に提示して欲しい N=264	最初は提示して欲しい N=206	提示して欲しくない N=17
外向性	3.38	3.28	3.79
協調性	<b>5.16</b>	5.03	<b>4.56</b>
勤勉性	3.04	3.09	3.00
神経症傾向	<b>4.30</b>	4.47	<b>4.59</b>
開放性	4.07	4.07	<b>3.82</b>

キャリアの可能性を会社から提示して欲しい意向について、長期的に提示して欲しいと回答した人は、協調性が高い傾向にある。反面、提示してほしくないと回答した人は、協調性・開放性が低い傾向となった。ただし、提示して欲しくないと回答した人数サンプルが少ないことから、継続した調査が必要となると考える。

セキュリティの授業をどのように進めれば良いのかわからない。



講師業を専門にしていると、実際にセキュリティの現場で働いたことがあるわけがないのでやりがいなどを伝えることが難しい。



セキュリティと言っても多くの仕事があるが、細かく説明できず、キャリア教育などが不十分だと感じている。

授業やコースを立ち上げたけれども、企業とのコネクションがなく就職において苦労している。

# 今後の予定

アンケート・インタビュー調査



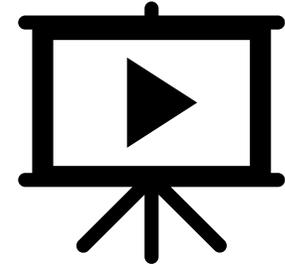
各種アンケートを  
実施予定

分析活動



JTAG財団とも連動  
した分析を計画

セミナー等開催



アンケート結果の  
考察などを紹介

WGメンバー募集中  
月1回程度 オンラインを中心に活動中

情報セキュリティ教育事業者連絡会（ ISEPA ）  
JTAGキャリアデザインワーキンググループ  
メールアドレス： [sec@jnsa.org](mailto:sec@jnsa.org)

